

2・28 全医労ストライキ(南京都病院)



支援の仲間とともに賃金改善を訴え
全医労は前日の交渉で賃金改善の前進回答がないことから、全国120の支部が始業時から1時間の時限ストライキを実施。回答に抗議し、要求実現をアピールしました。

3・6 JMITU京滋地本決起集会



約200人参加で熱気あふれる決起集会
JMITUは早朝の畑鐵工分会のストライキを皮切りに、京滋でリリーススト行動。夕方にはカシフジ構内で春闘決起集会を行い、大幅賃上げ求めて意思統一しました。

3・6 JMITU畑鐵工分会ストライキ



会社は誠実に回答せよ!と門前で訴え
前日の回答指定日に回答が無かったため、ストライキ支援行動に参加した約40人で会社へ申入れを行い、門前でシュプレヒコールして要求実現を迫りました。

府内各地で賃上げの世論を



地域総行動宣伝・綾部(2月18日)
2月18日を中心にした地域総行動では、府内27カ所・約100人が参加して宣伝行動が行われました。また、3・13全国統一行動をはじめとした単産の行動に地区労協からも積極的に参加しています。

25春闘

物価高騰を上回る

多彩な取り組みを相互支援&相互激励

大幅賃上げ求め

25春闘本番。ベアにこだわり、労働組合の力(ユニオンパワー)で物価高騰を上回る大幅賃上げ実現めざし、ストライキで決起し、多様な行動が展開されています。

2月28日は全医労がストライキ、3月6日はJMITUがストライキ・春闘決起集会、3月13日の全国統一行動ではストライキ行動、街頭宣伝、アピール行動、パレードなどが取り組まれ、相互支援・相互激励行動を展開しました。要求実現へ、いっそう力を合わせて奮闘していきましょう。

3・18 郵政ユニオンストライキ



全国でスト決行
3月18日、郵政ユニオンがストライキで決起。京都西郵便局前には組合員と支援の仲間約50人が参加、ストに入った4人の組合員を激励し、大幅賃上げ・要求実現を訴えました。

地域総行動で賃上げ求めて宣伝行動

25春闘は、労働組合の力(ユニオンパワー)で、物価高騰を上回る大幅賃上げを実現しよう!と、民間労組のたたかいに、公務・民間・地域が相互支援・相互激励を強めて総がかりでたたかうことを重視しています。

「労働組合といっしょに力をあわせよう」とアピール宣伝行動を行っています。

2月18日を中心にした地域総行動では、府内27カ所・約100人が参加して宣伝行動が行われました。また、3・13全国統一行動をはじめとした単産の行動に地区労協からも積極的に参加しています。

地域総行動宣伝・乙訓(2月18日)

3・13 全国統一行動



民医労は900人が参加の全面スト
民医労は900人のストを決行し各院所前で車や通行人に全員でスタンディングアピール。

京都医労連



離職STOP 3・13大宣伝行動
イオンルール京都前では約70人が参加した大宣伝行動を実施。「増員と大幅賃上げ」をアピールしました。

全国一般京都生協労組



各事業所で時限スト。本部前(写真左)と洛中支部(上)には他労組から支援の仲間が参加しました。

全医労



全医労が始業時スト
宇多野病院前には多くの組合が支援に駆け付けました。

福祉保育労



キラキラパレードで楽しくアピール
福祉労働者の増員と大幅賃上げを求め、70人の参加で河原町通りをパレードしてアピール。

TUBUYAKI

「お客様は神様!」は昔々、新聞記事が目にとまった。カスターマーハラスメントである。カスハラは企業だけでなく自治体でも対応に苦慮している▼「深夜2時まで事務所に居座られた」との話を最近耳にした。極端な話ではあるが、これらのことがきっかけに自治体でのカスハラ対策がすすんでいる。条例化、マニュアル(指針)づくり、職員研修、名札を名字だけのひらがな表記に、録音機能付電話の導入、ポスター掲示、警察OB配置等々である▼府内のある自治体では、カスハラ対策として受信電話だけではなく、発信電話も全て録音しているという。ホームページにそのことを載せているから都度知らせていないのだが、これでは抑止効果にならないばかりか、知らずに電話を受けた住民との間で後々のトラブルや、憲法21条に抵触する恐れのある行き過ぎた対策ではなからうか▼物事を伝えるのが苦手な住民もいる。職員保護は必要だが、まずは住民の意見を聞くという基本スタンスを明確にし、住民の理解と納得を得ながら対策をすすめる必要があるのではなからうか。(IF)

バイバイ原発きょうと（3月8日）



「原発いらない、脱原発」の声を響かせて

福島原発事故から14年、今年も「バイバイ原発きょうと」「原発ゼロ北部府民集会」が行われ、「原発なくそう」「原発の増設と再稼働許すな」と府民にアピールしました。

脱原発社会の実現をめざして、3月8日に「バイバイ原発3・8きょうと」が円山音楽堂で開かれ、1000人の市民が参加しました。



原発ゼロ北部府民集会（3月9日）

は、関電株主訴訟原告団、原発賠償訴訟京都原告団からの訴え、生協組合員・消費者からの発言、若者スピーチが行われ、京都原水協の平事務

集会で、は、スペインのセリヤルゲストのせやろが、いおじさんが「強引な政府のやり方」に一言「と題したトークで会場を沸かせました。

3月9日に舞鶴で行われた「原発ゼロ北部府民集会」には200人が参加。再生可能エネルギーについての講演で学び、集会後はデモ行進を行い、「原発ゼロ」なくせ原発をアピールしました。

大軍拡反対請願新署名スタート



新署名スタート集会（3月4日）

集会には43人が参加し、大軍拡・戦争国家づくりの情勢や軍拡予算の現状と新署名の意義を学び、署名をスタートさせました。

新署名の意義について、「請願項目は『軍備拡大の中止』『軍拡財源確保のための増税反対』『戦争準備の中止』『平和的生存権を実現する政治の実現』となっており、7月の参議院選挙に向けて、憲法、平和、いのち、暮らしを守る政治への転換を求めるこの署名運動を大きく展開していくことだ」と訴えられました。

報告を受けて参加者から、「新署名に全力で取り組む」「戦争する国づくり、大増税は許せない、署名運動に力を注ぐ」と取り組みへの決意が語られました。

2023年1月から取り組んできた「大軍拡・大増税の撤回を求める緊急署名」運動に区切りをつけて、9条改憲NO！全国市民アクションと9条壊すな！総がかり行動実行委員会が提起する「税金は暮らしの拡充に、戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、暮らしを守る政治への転換を求める請願署名」（略称：大軍拡反対請願署名）運動に取り組むことになり、3月4日に新署名スタート集会が開かれました。

戦争する国づくりを許すな！



集会の様子（2月21日）

福祉保育労の裁判報告集会

2023年12月に京都地裁は、京都市が府労委の命令に従わず、団体交渉に応じないのは違法だとして組合に対して損害賠償を命じる判決を出しました。それを不服として京都市が控訴した控訴審の判決が2月21日にありました。

判決は「原判決を取消し、地裁に差し戻す」というものです。判決理由として大阪高裁は、地裁では争点になっていなかった過去の経過30年以上にわたって組合と京都市が団交を重ねてきたことなどを含めた判決となっており、地裁で改めて双方が主張し判断される必要があるとしたのです。その日の夜に開かれた判決強く決意が語られました。

報告集会の最後は学児の組合員から「完全勝利にむけていっそうがんばる」と力強く決意が語られました。

高裁は京都市の主張を認めず地裁へ差し戻し

「組合ニュース」1万号達成 民放労連・京都放送労組

2025年2月20日付の組合ニュースは、1980年組合結成以来通算1万号を達成。44年での達成。ちなみに民放労連近畿地連内では通算数トップです。

組合の豊富な活動で多くの要求を実現し、働く者の生活と職場にKBSの放送の灯を守ったのです。その大きな役割を果たしてきたのが毎日発行の「組合ニュース」です。

「運動の分厚さそのもの。これからも労働組合運動をけん引する存在としての奮闘を祈る」（梶川総評議長）と評価されています。



日常のひとコマ

癒されています

福祉保育労 M・Y

もう5〜6年になるのか、我が家のメダカたち。毎年卵を産んで新しいメダカが誕生しています。知り合いに

あなたのパシャ写真募集中！

「応募方法」①画像1枚、②タイトル、③コメント1000〜2000字程度、④お名前（掲載はペンネーム可）、⑤所属、⑥プレゼンターの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード（10000円分）を贈呈します。